THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

遞信省認可

明治二十年七月二十五日

定價金四錢

女學雜誌

第六十七號

每月三回發行

續文舍

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

目録

〔女學叢誌〕男女の未來●〔中外新報〕數十件●〔學藝一斑〕心意發育論●〔論說〕婦人の當に學ぶべきもの一二（前號の續き）西村茂樹君演說○日本弘道會に就て一言す（前號の續き）矢田部良吉君演說○歐洲の商業敎育（第六十五號の續き）マリシャル君演說●〔新作物語〕閨の徹夜燈（第二篇）南翠外史述●〔家政要報〕西洋料理の簡便法（前號の續き）大口魚の摘入れ其他數件○米の蟲害を防く法○長岡地方の米と茶○帝用砂糖●〔御伽草〕佛蘭西癖の貴族殿○數學問題○第六十四號數學問題答式○六十四號考物の答●〔寄書〕幼稚保育の心得（前號の續き）○自動の進步及び他動の進步

女學叢誌

○男女の未來　（續稿）

夫れ野蠻曚昧の人類に在ては其心意情想單粗卑低なる者にして其樂みハ腹に滿ち口に饜けハ即ち足り其悲みハ寒來り食竭くるに過ぎざるなり左れバ斯る社會に在てハ獨り已が智能權力の强熾なるを誇り其配耦の次第に之を消失するを顧みざるのみならず却て之を以て愉快と爲し讎敵でもうち從がへたるが如く得意揚々乎として之を叱咤す固とより深く怪しむに足らざるなり其既に野蠻曚昧の暗世を出でゝ未開の域に進入し種々樣々に思ひを焦し工夫を運らして已れ等ハ智能を磨くに至るも其婦女子に至てハ之を度外視して曾て之が利害を問ハざるなり然ども彌に其智能を磨き漸く進んで未開の雲と攘ひ半開の域と出でゝ所謂る開明の美域に達し其心意情想大に發達し其悲喜哀樂ハ進んで形而上に動き其情緒ハ馳せて無形の事物に及び其愛情ハ發して無躰の意思と戀結するに至る於是乎始めて已れ獨り才能知識を磨くとも朝な夕な起き臥しを共にし睦み語る婦女子等の才能知識あらすんばいかて已が心を慰め得べきぞ高き山の巓に居ていかで千仭の無智の草の生ひ茂れる谷底に居る婦女子と相ひ語ふとの出來べきや且つ已れ一人の力のみにて適ハぬ事の出で來るも如何んぞ谷底深く立つ婦女子の助勢を求むるとの成るべきや此等の事柄は野蠻未開の族にハ中々悟り得ぬとなれど既に開明の域に進める人民に在てハ容易く悟り得べきことにして是れぞ今日文明諸國に於て婦女子の敎育を熾んにして之が地位を高むるに汲々として婦女子の勢力日に月に强熾なるに至る所以なり

偖て然らば今後男女の關係は果して如何に爲り行くべきや男女の關係は今日の有樣のまゝに止まるべきや想ふに婦女子の敎育ハ今後彌に熾盛に赴くべく婦女子の勢力ハ益々增加すべし啻に然るのみならず今後世絕を累ぬるに從ひ必す上君主を輔佐し下人民に政令を下す政治家●も巾幗社會より出づべし三軍に將として旆旌を揮ひ幾千万の兵士を一令のもとに進退

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

せしむるの勇將ハ唯だ獨り男子に止まらず娥眉窈窕たる婦人の馬上に大聲叱咤する者あるを見るに至るべし是れ決して余輩が荒唐無稽の暴言にあらず語に之有り「雨是徴」と既に今日に於て之が兆候あるにあらずや試に淼渺たる太平洋を横ぎり亞米利加大陸に旅行して其諸官省(和聖東府)の職員錄を披閲せよ其屬員の數一万五千有餘人の中婦人にして之が員に列する者無慮四千有餘人の多きに居ることを發見すべし而して此等の屬員ハ如何なる社會の婦人なるやと問ふに上等の婦人にして多くハ有名なる將官の寡婦前の各州の知事或ハ國會議員の令孃或ハ大統領及び内閣員の親戚などの令孃だちにして問ま各國を周遊したるもありて皆な充分に敎育ある貴婦人なり(其年俸ハ七百二十弗より二千二百五十弗までの差あり)又試みに累々として堆積せる鴻儒碩學の著書を繙け中に必ず女子徴兵論と發見するなるべし婦女子の孱弱なる其力善く運搬の業に堪ゆる能はずとの反對說と駁するに運搬に堪へざるハ都會優柔の婦女子のみ彼の田間の婦女子に至てハ然らず其成年に達するや或ハ耒耜を擔ふて田圃に耕やし或ハ鎌縄と携へて薪を山野に刈り其筋力頗る強し豈に運搬に堪へざるとあらんやとの言を以てし其婦女子の成年に達せる者を徴して兵役に就かしむるや善し去れど其役を終へて皈るの日ハ赤子の懷内にあり或ハ乳兒の之に伴ふあり再び之を徴して有事の日之が用に供する能はざるを如何せんやとの說に答ふるに戰時再び之を徴集せざるべからざるの方て之に應ずる能はざるの事情(懷姙或ハ乳兒ある時)あらば宜しく數多の地方を區劃し各區に課して綳帶綿撒絲彈藥等と製出せしめ其家に在て國家に對するの義務を盡さし兌其徴集に應ずる能はざるの事情なき婦女子を徴して以て看護の任薪水の勞を執らしめバ何の不可なることぞあらんとの言を以てせる等一々之を論破せざる所なし是單に學者紙上の空論に止まらず今日に於てもふ既に婦女子として戰時の事を執らしむるとあるにあらずや余輩ハ今日より幾世紀間に於て男女全く同一の業務と取るに至るべきやを指定すると能はずと雖ども余輩ハ今後世紀を累ぬるに隨ひ男女全く同一の業務を取るに至るべきことを深く信じて敢て疑ハざるなり

(未完)

◎中外新報

○御臨校の次第　去る十八日華族女學校第二學期大試業卒業証書及び修業証書授與式を執行せられしに付　皇后宮にハ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

御豫定の時刻に同校へ行啓在らせらる御陪乘ハ高倉典侍、供奉にハ香川皇后宮太夫、山內宮內書記官、北嶋權掌侍、生原寺命婦等にして當日小學全科卒業の人員ハ神田春子、小崎仲子、松方廣子、三嶋竹子、渡邊文子、中山政子、北條智子、高嶋辰子、山口稻子、大岡幸子、原田民子、吉原靜江女、富小路定子の十三人にして內受賞者八十一人出席の諸員ハ三條內大臣、同夫人及び令孃、伯爵伊藤夫人及び令孃、山尾宮中顧問官、鍋嶋式部長官、同夫人、吉井宮內次官、同夫人、杉皇太后宮太夫、同夫人、花房伏見宮別當、同夫人、渡邊帝國大學總長、高崎式部次官、同夫人、九條掌典長、同夫人、岩倉大膳太夫、同夫人、櫻井宮內書記官、五辻華族局主事、東園侍從、長崎式部官、高嶺高等師範學校敎頭、岡田、萬里小路兩侍從、齊藤宮內大臣秘書官、原田侍醫、足立諸陵助、宮內皇宮警察長、喜納學習院敎頭、田邊宮內書記官、高階侍醫、小笠原皇宮警察次長、荻原侍醫局勸務其他女官數名にして生徒の父兄の參觀せしもの百八十餘人なりしが皇后宮御製の金剛石、高時正風氏作の勸學歌及び若菜、螢の光等の唱歌もあり又同校生徒神田はる女の祝文ハ左の如くなりしと

上等小學科一級生　神田はる

今日ハ是如何なる嬉しき日ぞ、かしこくも我皇后宮には親しく此卒業の、式場に臨せ給へり、春子等皇后宮の深き御いつくしみと師長、の懇なる敎へとに由りて今、斯く此小學全課を卒業して新に、光榮を添へ侍りぬ、今より、行く先き、猶進みて中學に入らば、益勉て、學業を勵み、德行を修め、謹しみて此恩典に答へ奉るべし、嬉しさの餘り、こゝに、此一言を聞え上て、後のあふましを、誓ひ奉るにこそ

○敎員の及第者　尋常師範學校、尋常中學校、高等女學校第三回敎員の學力試驗ハ過日文部省の修文館に於て執行せしが最早その成績の調査も相濟みたる由にて最初の受驗出願者ハ三府二十六縣より二百二十三名なりしも試驗の當日に至りて試驗を受けたる者ハ百九十名にて內一科以上及第したる者ハ六十二名なりしと云ふ

○英國婦人の氣位　此程のことなりとかや齡尙若き二人の英國婦人ハ雄々しくも歐州大陸の漫遊を思ひ立ち憂き節繁き旅衣日數を重ねて歐州諸國の名所古跡を訪ひたる末普魯西國に入り諸所八方を見物し終りしが件の女子等ハ名所古跡ハ殘る隈なく見物したりしかど此儘立ち歸りてハ知巳朋友への土產話も物足らぬ心地して最興薄かるべければ此上當時世界

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

に於て第一の英傑と呼ばるゝビスマーク氏を訪ひ歸國の後此事を以て知己朋友への土産にせんとて同氏の邸に到り面會致し度旨を申出でしに氏には快よく肯せられ直樣家人をして件の二女を迎へて饗應ぜしめ少焉して氏は自ら出で懇ろに款待し種々談話を爲して羈旅の勞を慰め最珍しき古器物杯を見せ又自から立て庭園に導くなど一として懇篤至らざる所なかりしかば二女は深く同氏の厚意に感じ原く謝し喜び勇んで歸國したりとぞ流石文明國の婦人は亦格別なり

◎各國人民の生殖力　千八百七十二年出版の佛蘭西統計錄に據ば歐洲各國にて婚姻一に付産兒の平均數は左の如し即愛爾蘭は四人八二八、伊太利は四人七九、希臘にては四人七三、露西亞にては四人七二、西班牙にては四人五二、蘇格蘭にては四人五一、威耳敦堡　四人三五、匈牙利にては四人三一、瑞典にては四人三〇、那耳威にては四人二九、荷蘭にては四人一二、普魯西にては四人一一、英吉利にては三人九五、白耳義にては三人九三、墺地利は三人九二、薩遜は三人八五、嗹馬は三人七三、巴威耳は三人二九、佛蘭西は三人〇七の割合なり

◎人躰の重量　男子は四十歳婦人は五十歳にして始めて人間最重の躰量　即ち男子は百四十英斤半、婦人は百三十四英斤に達し得るものなるが人初めて生るゝ時は男子は七英斤、婦人は六英斤半にして初年には重量三倍し二三年より婦人は十一二年まで男子は十二三年までは幾何級數の割合に增加し其後ち十八九年よりは或る正しき割合にて重量を加ふるも十八九年よりは其增し方甚だ緩漫となり遂に男子は四十年まで最重量を得たる後ち六十年までは著しく之を失ひ八十年よりは大抵体量十三英斤二三二は身の丈け二英寸七五六と減ず又婦人は五十年にて最重量を得るとなるが其最重量は通常平均男子は百四英斤婦人は九十四英斤にして男女とも老年の重量は十九年の時の重量と均しく又男子は同年の婦人よりは總て躰量の重きものなるか唯た十二年の時に於てのみ男女の躰量同量と爲るなり又男子は三十六年に至りて瘠せたるは肥へ肥へたるは瘠せ四十三年より五十年に至り情欲は減少して顏色其艶を失ひ少しく心身を勞するときは舌に胎皮を生するに至る且つ筋肉も關節も氣力も共に衰弱して充分なる安眠を得ざるものなるが一年若くは二年を經て老衰の期を過ぎたる後ちは新たに勇氣を得て六十一二年までは其まゝにて衰へず左れど六十一二年よりは更に前期より一層甚だしき老衰の期と爲るものなりと米國の或る新聞に見えたり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○男女徳義心の實驗　米國幕士敦府の或る慈善家ハ男女の徳義心の多寡大小を試驗せんとて十二個の安價き蝙蝠傘と買ひ取りその柄に白金の板を塡めて其住所姓名及び御用濟の後ハ蝙蝠傘を返送せられたき旨を彫り付け雨天を見計り市街に出で蝙蝠傘を所持せざる婦人に逢ふ毎に之と貸與へたりその後一週間内に蝙蝠傘ハ悉く返り來り紛失したるハ唯だ一本なりしが是れとても其借主ハ圖らずも盜み取られたる由にて其代價を辨償すべき旨を認めたる書面を送れり其次の降雨の日にハ蝙蝠傘を十二名の男子に貸し與へたるに十一本ハ紛失しその返り來りたるハ唯だ一本ありしのみ是れとても借りたる人の返せるにあらず慈善家の友人が寺院の祝宴に際して之れを見附け直ちに奪ひ來れる者なりしと云ふ

○英國の女丈夫　合衆國ジヨルジヤ州のトレント府にアリ・ー、チルデンスと云へる年尙ほ若き一婦人あり學校教師を職となしけるが時しも五月の中旬ジヨン、モゴルスと云へる若者が同婦人のことに就き種々の罵詈讒謗をなして所々に觸れ廻はしたるより此事早くも婦人の耳に入りしかば婦人ハ大に怒り直に馬に乘りてルークアウト山を越え十五里も距りたるモゴルスの住家に到り同人に面會の上拳銃を發して同人を恐嚇し難なく屈服せしめて謝罪をなさしめたるがその後猶もチルデルス婦人がモゴルスハ婦人の德に傷けたる惡漢なりとの事と記して世上に公けになしたるを今度ハモゴルスが知りて決鬪狀を婦人に送りたるに婦人ハ少しも畏るゝことなく其返答をなし期日に至りて約束の場所に赴きたれどもモゴルスハ臆病にも約に背きて出會ハざりしにより決鬪をなすに至らざりしが婦人ハ近日の内にモゴルスを引出して公衆の面前に於て鞭撻を加ふべしと公言し居るよし扨ても慍ろしき婦人なり

○東京女學　芝櫻田兼房町なる東京女學にてハ今度簡易科と云ふを設け英語及び洋服裁縫を教授し六ヶ月にて卒業せしむる筈なるが又都合により本年に限りて暑中も休まずに教授せらるゝよし

○訓育啞院　京橋區築地なる訓育啞院にてハ來る廿八日より八月一日迄五日間定期試驗を執行せらるゝ由同校の啞生野村雪子と云ふハ野村遞信次官の令孃なるが至つて記臆力強く昨今ハ發言も尋常の人に餘り異ならぬ樣にて殊に繪畫抔ハ最も巧みなりと聞く

○共立女學校　横濱山手の共立女學校にてハ去る十四日を以て定期卒業式を執行せしが當日ハ生徒松本いさ子ハ（上流

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

婦人に告ぐ)作文を期讀し續いて石坂みな子(自由と皇張するに女子も亦責任あり)湯淺いと子(女學生の將來)田中三香子(女子の本分)土田つね子(精神論)松本いと子(本末を誤るべからず)等の演說もあり卒業生は都て八名にて夫々証書を授與せられたり

○札幌女子職業學校開校式　同地に一の女學校を設立するの企ある由は兼て聞き及びたる處なるが去る十日を以て愈々同校の開校式を執行せられたり當日臨席の人々は岩村北海道廳長官を始め佐藤、小野、藤田の三理事官、淺羽札幌區長等にて岩村長官の簡單なる演說ありて開校を祝し次で三吉同校長が一場の演說を爲し各來賓に對して謝辭を述べ尙併せて同校の後來に望む所ある旨を演述し畢つて裁縫教師のミシン使用の實試等を爲したりと

○式禮規程　今度伊藤伯の發意にて式禮規程なるものを設けんとて目下法制局參事官平田東助氏が起草中の由なるが規程と云ふも之れは公に發布するものにはあらず踏舞夜會又は他の宴會等に關する貴顯貴女等の一の申合規則にて云はば席上心得書樣のものなりと

○京都高等女學校　同校は今回其校則に改正を加へ先づ庖厨向より着手して賄所に完全なる西洋料理用の竈を据へ食堂も是迄は都て坐食なりしを更に腰掛に改むる等總て西洋風の賄方を稽古するとゝなし來二學期より各實施する事となりたり最も右の西洋竈は各生徒一週間交代よて西洋料理法を實地に練習する都合なり又裁縫科は是迄何れも坐業の一方に定り居りしが是亦二學期より卓上にて立業する事になりしと

◎學藝一斑

○心意發育論（前號の續き）

○○○○○經驗の理論　設へは同時に小兒一物の原因を說明する時其能く之を理解すると否とは物あれば必ず其原因ありとの天理と知ると否とに因る者とす此故に心意の經驗を帶ぶる事情を觀察して以て經驗教授の心理を發見せざるべからざるなり經驗とは求めずして發する者を云ひ教授とは人爲を以て有用なる、經驗を授けて智識の發育を補助するとを云ふ然るに經驗は何れを先きにし何れを後ちにするとも不可なき者にあらず必ず其間一定の替へ難き次第あるものなれば若し此次第よ背く時は教授其功を奏せざるなり例とへば先づ簡單なるものを授け後ち漸次復雜なるものを授くへし又實物を先きにして名稱を

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

すへし又事實と先きにすへし之を教授經驗の心理と云ふサレー氏の外ベイン氏も近年に至り教育學の書を著はして智識增進の次第を論じたり

○○○○發達の理論　前段に設ける如く格段なる心意の狀態を生せんが爲めには直ちに之れに先たつ狀態のみならず遠く之れに先だつ狀態をも要するがゆゑに或る格段なる心意の狀態を生せしめんと欲せば之れを生ずるに適したる狀態を生せしめざるべからず是れ經驗教育の必要なる所以なり然らハ豫じめ或る心意の狀態を生し置くとハ何時を問はず隨意に之を爲すを得へきかと問ふに決して然らず豫かじめ生せしめんと欲するところのものも亦一つの心意の狀態なれば之を生せしむるの成否も亦之に先たつ心意の狀態に據て定まるものとす設へば大人には容易く無形の理を會得せしむることを得へきも小兒にハ之れを會得せしめ難きが如し其故他なし各人の心意ハ生より死に至るまで一樣不變なるものにあらず必ず年齡と共に一定せる順序を逐ふて發達するものなればなり即ち前段に述べたる經驗の次第ハ順適するとも若し此順序に違背すれハ教育經驗其功を奏せざるなり即ち之を換言すれハ心意の發達に關する事實を觀察し以て發達の次第を究めざるべからず是れ發達の理論の起る所以なり彼の兒童をして人事に關する高尚深遠なる理義を解するの能力未だ發達せざる時より經書を誦讀せしむる教育法の如きハ一に此部の心理に背戾せるものと云ふへし

○○○○遺傳の理論　去れば茲に或る格段なる心意の狀態あるに方て其依て來る所を悉く知らんと欲せハ其人の嘗て受けたる經驗教育と心意の生成開展の程度とを考察するのみにして盡せりやと問ふに人の心意にして若し誰彼の差別なく同齡に達すれハ同樣に發達すべき者なれハ此二事にして盡せりと雖とも人の心意は決して同一に發達するものにあらずして或は速かに發達するあり或は遲く發達するあり或ハ一方に速かにして一方に遲きあるを以て此差同を觀察して此れに關する心理と發見せざるべからず蓋し心意の發達も自から一種の心意の狀態なるがゆゑ必ず之れに先たつ狀態に依て差同あるへきハ勿論なれハなり去れハ發達に先たつて出て之れが遲速方向を決するの事情ハ何ぞやと問ふに親母の氣習遺傳是れなり形質遺傳の理を論じたる學者頗る多し語て最も詳かなる者を佛のリボー英のゴルトンと爲す前者ハ遺傳律と云へる書を著はし後者ハ遺傳材能と云へる書を著せり其遺傳論の略に曰

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

く凡そ人類は同一の經驗を受くること久しきに及べば此經驗に依て生ずる心意の狀態は遂に一の氣習を爲り長く心意に其痕迹を留むる者なりゆゑに人の產るゝや既に此氣習を受く是れ遺傳なり而して親の氣習彌よ深厚なれば之を兒に傳ふること益々確實なるものなり即ち彼の學術家は商人の如く世務に奔走せずして常に事理の考察を事とする者なるがゆへ此こと遂に一の氣習となり之を其兒に傳へ其子は商人たらんよりは寧ろ學術家たらんと欲するの傾向を現はす

斯の如く氣習益々深厚なるに從ひ遺傳彌よ確實なりとの議論を以て推す時は更に一條の至大なる心理に達することを得べし曰く親に於て同一の經驗を受くること久敷に及び之よ依て生じたる氣習を其兒に傳ふに方り兒も亦同一の經驗を受け一層確實なる氣習を其子に傳へ以下代々世々同一の經驗を受て氣習最も確實なるに至る時は其氣習遂に一個堅固なる性行となりて後裔に現るべし通例世人が稱して天性と云もの即ち是なり例へば呱々たる嬰兒が教へずして乳を吸ひ怖ろしき聲を聞けば即ち泣くは一に此理に因るものとす蓋し怖ろしき聲あれば必ず怖ろしき者ありと云と人類の代々世々經驗する所なると以て一個の天性と爲て斯く嬰兒の性行に表はるゝなり　（未完）

◎論說

○婦人の當に學ぶべきものゝ一二（前號の續き）

矢田部良吉君　演說

外國語を知らなければ日本の如く其開化が日に月に西洋風に進で行く國柄にてはいつでも人に後れを取らなくてはならぬやうになり、ますろして常に後れを取て居て馬鹿者になつて居ると決して快い事ではありません又外國語の中では何の國の語が最も學ぶ可きものかと云ふに英語が一番よからうと思ひます英語は世界にて最も廣く行はれて居る語なるのみならず東洋にては最もよく通ずる語で御坐ます且つ我邦の婦人の爲めに要用なる智識は英語に依て皆得られます尤も力もあり時もありて二ヶ國若くば三ヶ國の語に通ずるを得る方は其れに越したとはありますまいが一つの外國語を選むならば英語が第一と存じます

英語の外にも婦人が學で最も宜しきものは澤山ありますが私の考へでは唱歌は隨分學でよいものと思ひます尤も英語も唱歌も女學校の生徒は皆學ぶべきものと爲て居るやうですから生徒方に對しては斯樣に申すのもむだで御坐りますが私は重

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

に學校へ行かない方卽奥樣方に對して申すので御坐います私の唱歌と申すのハ重に學校唱歌のとで耶蘇敎家ならバヒムも固より宜しう御ざいませう奥樣方ハ既に子供のある方もありませうし又早かれ晩かれ子供の出來るのハ當り前です然るに子供ハ何か歌を聞たり自ら唱ふたりすることが好なものですすから始の內ハセンゾヤ、マンゾの如きものを聞せて置くも宜しうございますが追々にハカザグルマとかミワタセバとかハルノヤヨヒとか云ふものに遷り次第に進むやうにするとが大切と思ひます是ハ母の膝の上で段々仕込むにてしたとハありません是迄のやうにヨイヤマチ、ソシテ、ウラミテとかモミチバノ、アチバニ、シゲルとか云ふ歌ハ文句も節も敎育の爲めにハ甚だ悪いと思ひます其故に奥樣方が少しく勉强して學校の唱歌を學で置かバ子供を育てながらどの位の樂みになるかしれません又子供にも至極爲めになります相成るべくハ奥樣方ハオルガンの彈き方も學で置く方がよいと思ひますオルガンも決して立派なものにハ及びません近頃ハ東京で價直の安い可なり使ハれるオルガンが出來ますから之を一挺具へて置けば事ハ足ります尤も立派なオルガンとお望みならバ外國へ注文すれバ直きに得られます我國の婦人方ハ皆御器用ですから學校唱歌や之に合する丈のオルガンの彈方位ハ少しく勉强なされば覺えるとハ容易と思ひます子供が追々大きくなつて唱歌も一通り出來るやうになつた時ハ家內擧つてオルガンを相手に歌ふやうになれば家內の樂しみハ之が爲めにどの位增かしれません我邦の箏も上品な樂器で好いものですが御承知の通り箏歌の如きハ中々學校唱歌の如き易いものでハありません餘程年期を入れなければ少し聞きよいやうにハなられません斯樣な六ケしきものハ誰にも勸める譯にハゆきません實ハ少しく御耻しい御話しですが少し經驗がありますから申しませう私ハ調子外れの此上なしですが一二年前に思ひ付ましてヅッと若い氣になりまして六七人の年寄仲間で唱歌の稽古を始めました處が案に違ハず進みの遲いとハ暗夜の牛にも中々負けません聲のよいとも亦中々牛に負けませんどうやかかうやら今日まで續けて居りますが斯樣に剛情にやつて居たならば終にハヤマト、ナデシコやホタルノ、ヒカリ位ハ人並に出來るやうにならうと思ひます私如きものですら斯樣に勇氣を揮て唱歌を學ばうと思ふ位ですから奥樣方の如き御器用な方が始めないと云ふ譯ハありません旣に御熟達の方にハ斯樣なことを申すに及バぬハ勿論ですがまだ御始めなさらぬ方ハ一

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

日も早く御試みなさるやう一重に望みます
以上ハ甚だつまらない御談しで御坐ましたあなた方に對して申上るにハ及ばぬ事ですが若し御同意ならばあなた方の御存の方の中に斯樣な說と聞くとを要する人のありました時に御傳へ下さるやうに願ひます　（完）

○日本弘道會に就て一言す（前號の續）　西村茂樹君演述

偖敎育とハ今更申述るに及ハず德、智、躰の三者を養成する事にて此事ハ歐米に於ても已に定論と爲たれバ歐米にてハ此定論に據りて社會の仕向方即ち方向も此主義に從ひて一般の人民ハ皆右三者を均く養成する樣に致すなり然るに日本にてハ大に之と異る所が御坐る敎育の定論ハ歐米と同くして養成の仕方に就てハ餘程相違して居る譬へば小學校で敎授する時間に智識の方ハ十の八部を占め德と躰とハ纔かに十の一二に過ぎぬハ自然の法にて致方なけれども注意ハ重に智の一方に在りて又德の方ハ躰育よりも猶ほ粗略である又近頃新版の敎育書ハ汗牛充棟隨分澤山あれども大抵算術書とか地理、歷史とか又ハ字句文章と訓る讀本類に過ぎずして多く智育に關するものである而して世の敎育論者の云ふ所ハ那の邊に在やと申すと是も亦德の敎の事にハ餘り力を入れず重に智育の方に傾いて居る尤も道德にハ色々種類が有て philosophy（哲學）もあり宗敎的より出るものもあり或ハ儒道もあるが世の論者が此等の大要に就て議論を起したることハ今日未だ曾て聞かず左れば學校の敎授も著書編纂家の手に成りたる敎育書も又敎育論者の議論も孰れも皆智育の方よ力を込めたるものにして德の方ハ深く顧みない樣よ思ハるゝなり是れが則ち前に述る如く敎育の定義ハ歐米と同じくしてその社會の仕向方ハ大に反對して居る處で御坐るが寔に不釣合な譯にてハあらざるか畢竟日本人が德の方に心を用ひぬから斯る有樣よなりたる事なるべし

諸君已にしらるゝ如く歐米にてハ道德と云へバ大抵宗敎であるが朝廷の禮式も交際法も學校の敎授も皆此宗敎に據る事である支那ハ孔子の敎よ據て道德の主義を定め現に今日進士及第の如きも之に依て致すなり歐米人が宗敎即ち道德に奉ずるハ勿論日本人が常に輕蔑して居る支那人ですら道德ハ充分注意するに日本人が之を頓着せざるハ寔に悲しむべき事ならずや併じ政府にてハ道德に深く注意して居らるゝことなれども文部省の管する所ハ獨り學校丈に止まりて今の學校の敎方ハ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

何程定全なるものとするも子弟の學校を卒業して出て仕舞ば誰も社會に道德の事に就て世話する者なきゆゑ自然不品行もわらん甚だしきは惡事と働いて刑罰に處せらるゝ者もあらんか刑罰は人心を治むる道具にあらず只已に社會に發したる惡爲醜行を罰するものゆゑ之を以て道德を進むるには足らず決して惡事を絕つ譯には參らぬ歐米は之に異りて老若男女每日曜日には敎會堂に打集ひ生涯道德の敎を受けて居るが日本は學校を出たる後は一般の道德に就て世話する者なし之を思へば不思議な譯なり今申した通り學校を出れば生涯道德の事を講究せぬは今日の有樣なるがその他の事は如何に尋ねると衞生、經濟、法律、地理等は皆孰れも夫々協會とか研究會とか或は談話會とか名くる學會の設けわりて學校を出て後も常に講習して居るより又學校出身の人でなくとも有志者は右等の事柄を夫々講究するが惟ゞ道德許りは學校限りなり斯くては國の躰を得ざるのみならず將來日本國に如何なる弊害を生ずるや測られぬことなり寔に心わる者は安き思を爲されぬ事でわる夫れ故に愚老は自ら云ふも嗚呼ヶ間敷れども日本の道德の進步を圖る爲先年講道會なるものを設け有志者の會員 相集りて道德の事を講究致し居たるが有志者丈では區域も狹き故今度ろの會名を日本弘道會と改め規則を改正して凡そ道德に志ある者は其修たる學問の高下或は學派の異同に拘はらず互に質問し或は答辯し又は討論、演說抔して充分講究して之を躬に行ひ又他をも感化する樣に致たし然する時は諸君の職掌に必要なる敎授法を講究する事も出來るなり愚老も亦是に就は意見が多少あるとゆゑ說話する事もわるべし(以下次號)

○歐洲の商業敎育(六十五號の續き) マリシヤル君演說

經驗は學ばれるものかと云ふに左樣ではわりませぬ今日の學問は皆經驗から成立たものでありませう今日商業家の中でも有名なるものにして又理窟の方でも有名なる者があれば其理窟は商業で覺えたのではなくして十分の敎育があつたからでありませう今日の如き商業敎育は宜しくありませぬが夫れでも經驗もわり智識もわると云ふ者がわれば是は一の變例で最も多數の者が斯の如であると定めるとは出來ませぬ依て只今申しました通り現今の政府は商業敎育に骨を折て居りませぬから悲ひ有樣でわると申しましたが大分氣注きて此過ちを補ふ樣になりました故に法律學に於ても醫學に於ても非常に利益があり又ろれより起る責任もあると同樣に商業學も高等

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

の學問が必要であります銀行其他普通の商業學のみならず高等教育も必要であります又輿論ハ新聞紙を以て商業教育が必要にして今日十分に奨勵しなければならぬと云ふことを主張しまた其結果の一で御座りませうが昨年佛蘭西のボルドーと云ふ所ニ學友會と申す者がありまして其會に各國の學士を聘して公會を開き討論を爲したる中に商業教育の事を討論してありました斯の如く商業教育ハ必要の事となりて居ります

右の如く商業教育の必要なる事ハ輿論でありますがそんならば今日の商業教育ハ如何なる有様であるかと云ふに佛蘭西の巴里ニ商業高等學校と云ふものがあります又白耳義のアンヴエルスと云ふ所に商業大學があります此二つが商業の高等教育を代表する者であります又獨乙にも商業學校で有名なるものが御坐ります是ハ商業大學と申すべきのアンデル、アカデミーと申ます又佛蘭西にハ今申した外にも商業學校があります又墺地利にも露西亞、伊太利にも御坐ります又北米合衆國に於てハ商業學校が非常ニ盛でありまして到る處として商業學校のあらざることなき程であります併しそれハ中等の學校計りで高等學校ハありませぬ此學校ハ商賣取引學校と云ふ名を付けて居ることで御坐ります

（未完）

◎新作物語

○閨の徹夜燈　第二篇　南翠外史　述

第四　二人の少年二人の少女（五）

其の次夜ハうち臥そや否や直ちに左の物語りをぞ初めける朝な夕な空のみうち仰き勝なるハ旅に在る人を思ふの誠心にして結び置きたる友垣すらも啓行せし日より指折り數へて今日ハ彼處をや過ぎけん明日ハ彼の驛路にや宿借らん何處の港より文ことづてんにハ今日明日にこそ到着すらめ海に風浪の難ハなかりしか路に水火の厄ハあらざりしかと往く人よりも留まる身ハ最ど堪難きものなれバ况して小夜衣重ね語らふ夜とても薄き新婦の新郎君に別れて獨り留主守る心のうちや如何ならんうつそみの身ハ此處にありともさき玉の心ハ良人に伴ひて旅路遙かに辿りつゝありけんかし

淸一郎が妻のお繁ハ未だ二十年をも出ぬ身にて殊に此の春結婚したるばかりなれバ里方の事の全く心に忘れ得ざるに一顧に便りとせつる良人にハ公けの命せを承まはり遠き中國の呉とやらんへ赴きて身ハ變屈なる小舅とゝもに根岸の隱居所へ引移り今までハ姑もなく舅も居らで心に煩はしき事のなかり

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

しものを今よりハ頼むべき良人のなくして却つて物むづかしき舅姑の氣息を伺はでハ叶はざるか是も婦人と生れ來し勤めなれバ盡し得る限りハ竭して見んと腹の根締と締めて見れば案ずるよりも產むぞ安き此處の兩親ハ誠にうち揃ひて結構なる人々なればお繁の安堵ハ此の上もなく分きてお花ハ我が身に女子といふもの持し事なければお繁を貰ひ受けしより實に女子一人擧けたる如く心得て分隔てなく慈しめばお繁もまた眞實の生母に册くが如く陰陽なく事ふるに淸菴ハ更に一家の事などを喧しく言ふものならねば是れもお繁が爲めよハ誠に好ましき事のみなりしが然ればとて良人を思ふの念慮ハ中中に忘れ難く西の空をうち仰ぎて戀しき思ひ辿ふする事ハ堪えやらず餘りよ思ひ屈したる折にハ地圖を開きて此處なるべし彼處なるべしと指點して鬱を拂ひたるハ道理なり

お敏　お繁さん何を爲そつて被爲入るノ此の四五日ハ大層お暑く成りましたチエ妾の處ハモウ藪ッ蚊が出ますヨ

お繁　オヤお敏さんですかお靜さんも御一所でサア此方へ被爲入いまし其處ハ些とも風が通しませんよ

お靜　誠に御無沙汰を致しました鳥渡チ上らうと存じて居りましたがアノ少しチ加減が惡くッて湯治に參つて居りましたノ、ハア、アノ上州の磯部といふ溫泉場へ

お繁　オヤマア爾うでございましたのアノ何ですかモウ快癒と遊ばしたの夫ハマア結構でございました妾しハまた久しく御稽古にお見えなさらない樣だから何うなすつたかと存じて居りましたヨ、湯治に、磯部へ、夫ハマア宜しうございました他國へ出ると氣が晴々すると言ひますが定めて湯治場でハ面白い事でございませうチエお羨ましい

お靜　いゝエ東京の樣でハなく何方を見ても山バッかりで見る所と言たら妙義か中の嶽の山ばつかりでございますヨ

お敏　お靜さん磯部ッて此處だチエ此の鉄道のある處でせう

お靜　オヤ日本地圖ですか、ア、其處〳〵碓氷郡として有りませう安中の先ですヨ大變な處ぢやア有りませんか

お繁　だッて上州ぢやア山坂越えて往く所でもなし汽車で行けバ一日も懸らない處ですもの大變だッて阿孃知れて居まさアチ夫から見ると廣嶋縣ハ眞個に大變ですヨ

お敏　オ、爾う〳〵此方の若旦那ハ吳港へ御出張なすつて被爲入るンですチエ何處だらう吳といふのハ……オ、此處だ此處だ此處ハ廣嶋縣ですチエ大方二百里から有りませうヨ鐵道で行つても大變でせう、だけれども海軍の方ハ名譽で

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

すヨ妾しハ海軍の方が大好サ

お靜　またお敏さんが海軍の御講釋が始まつたヨお繁さんの氣にも成て御覧なさいナ此んなに遠くへ離れて被爲入つてハ何んなに御心配だか知れませんヨ

お敏　ですけれどもネエお繁さん眞個に海軍の方ハ名譽ですヨ幾干陸軍の方が御威張なすつても妾ハ海軍の方でなければ日本の守衛にハ成らんと思ひますハ

お繁　妾しどもの里でハネ父が海軍へ出て居るものですから妾しの兄も依然海軍へ出て居りますが何方にしても軍人といふもの大体なものでハ有りませんヨ

二間を隔し此方にある六畳の小座敷ハ彼の禮二郎が書齋にして父清菴も書の道を好むものとて傍へに

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

來り眼鏡をかけて認めたる畫を彼是と引出しては「彼處が惡い此處がよし」と品評するうち見出したるは絹地に描きし畫像なり清菴は手に取り上げ眼鏡を拭ひうち見やりて

清菴「アノ甘い能く出來た肉色といひ水墨で頭髪をぼかした處なぞは自から陰影があつて斯う浮て見えるやうだ是から見ると脂烟畫などは劣つたものだ、禮二郎是れは其方が描いたのか筆致は當世風だか併し思ひ切つた寫生で中々面白いびウムいゝと感服だ、此節は頻りに改良〱と言て何でも彼ンでも西洋風に引付やうとするから一種妙なものが出來て改良といふ事は粗末な惡い事のやうに成たが優美な筆を殘して斯う寫生に持て行ゝ面白さ何でも斯う改良しなくツてはならぬテ、是れは想像畫か夫とも寫生かェ此の美人は

禮二郎「ナニ其の程よ上出來とも思ひませんが實にホンの徒ら書でお恥かしい肖像畫でございます。

清菴「ナニ爾うでないて一体誰れを寫したのだェ

禮二郎「夫は……アノ海野の娘御のお敏さんの積りで……

清菴「ウム口と所さうか成程海野の……ハヽア爾うのェ

かく語り來りし時夜は常の時刻となりければ後は明日の夜にと殘して急ぎ臥床をかづきたりけり

◎家政要報

○西洋料理は簡便法(前號の續き)

◎大口魚の摘入　前に料理したる魚の餘るときは肉を擂より取りて細かに切り魚と同量に潰したる芋を入れ塩少し許りを加へ手に取り麥粉を附けて丸め煮沸したる豕の脂に入れて淡黃色に揚げて食すべし又芋に乳とバタ及び玉子少し許りを入れて揚ぐるも宜し●燒魚　食麵を水に浸し柔かにし胡椒及び紫蘇(紫蘇を用ひざるも宜し)少し許りを麵包へ交せ腹の内を洗ひたる魚の腹へ入れ淺き鍋にて淡黃色に燒きバタを附て食するときは其の味甚だ佳なり●蠣の揚物　揚物には鮮らしき蠣を擇み能く洗て布に並べ上より程能く壓して濕りを取り去り別に攪き拌したる鷄卵を細微なるソーダ、ビスケットを供へ置き先づ初めに蠣を鷄卵に浸し次にソーダ・ビスケットを附け一匙のバタを敷て熱したる揚物鍋に入れて淡黃色に揚げ冷ざる内に食すべし

(以下次號)

◎米の蟲害を防ぐ法　夏候の末より秋季の初めに掛けて米の蟲害を被ること少なからざるが此害を防ぐには先づ厚き塵紙を澁糊にて繼ぎ綴り兩口の嚢を製り一方の口を括りて俵の

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

中に挿み入れ之に米を盛りて口をたゝみ外面ハ尋常の俵の如くにして貯ふれば夏季を經るとも蟲害の憂へなく少しも米の減ることなし又他の一法ょ據れバ米壹俵(三斗入)の内へ石灰と三合稻混合し即ち一斗に就き一合つゝの割合にて混交せ繩にてその俵を堅くしばりて貯ふべし斯くする時ハ翌年の十月に至るも決して米質の變ずることなく亦蟲害もなくして籾のまゝ貯へたものと同一なり尤も是より出たる糠ハ牛馬の食料にハならざるも作物の肥料にハ至極適するなり

○長岡地方の米と茶　新潟縣下長岡地方の稻作ハ最早三番草を採り終りたる所もあり又採草中の所もあり今の分にてハ申分なき上出來にて今後不時の天災なくバ秋穫時ハ十圓に七俵位の相場なるべし又新茶の捌方も先づ景氣よろしき有樣にて目下の代價ハ濃茶十匁半袋三十錢、薄茶十匁上等二十五錢宇治煎茶壹貫目中通り二十圓二十錢同玉露壹貫中通り五圓五十錢新津茶百斤初葉廿八九圓同二番茶百斤廿二三圓同粉茶百斤三圓八九十錢同飛出百斤六圓五六十錢位ありと

○帝用砂糖　今度辻村組の製造にて府下各洋酒店より罐詰となして發賣せる帝用砂糖ハ純白にして其味淡泊佳美少しもアクなく珈琲、紅茶、其他西洋酒に混せて用るに最も適せりと

◎御伽草

○佛蘭西癖の貴族殿

昔者墺地利ウヰンナ府に佛蘭西癖の貴族ありけり家屋庭園の構造より飲食衣服ハ申すまでもなく手道具の類まで悉く佛蘭西より買求めぬ或日佛蘭西より買入れし時計の仕掛の損じゐるによりウヰンナの時計師を招きて其繕ひ方を命け且云ふ汝ぢ此時計を幷々の物と同じやうに取扱ふこと勿れこれハ則ち佛蘭西製なりと時計師之と聞きて大ょ笑ひければ貴族殿ハ少く變に思ひ何故に笑ふぞと向ひたりしに時計師ハその時計を執りて貴族殿ょ示しつゝ殿樣此時計の細工ハそも五六年以前佛國の或商店より注文を受けて私の製りたるもので御座いますと答へそのねぢを開き製作人の名前の彫刻を示せしかば貴族殿ハ大に愧入りこれより聊か其癖ハやみたりとなん

○數學問題

蝸牛あり二丈七尺の柱を上るに一日に七尺を上り一夜ょ五尺を下ると云ふ然るときハ幾日を費して全く昇り盡すや（兵庫縣尼ヶ崎矢嶋兼子出題）

○第六十四號數學問題答式

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

$50\times3\div(5-3)=75$帽子七十五錢、$50\times5\div(5-3)=125$靴壹圓二十五錢(荅者)宇都宮藤井三代子、長野縣松本鈴木やす、東京築地春内君子、同本郷龍岡町加藤正義、同駿河臺篠崎千代、佐賀縣小城郡多久まさ子、兵庫縣尼ヶ崎矢嶋兼子、長崎港濱町瀧子

⊙第六十四號考物の荅

巴御前(荅者)東京築地春内君子、同築地壹丁目林趙宇、同神田神保町武田菊松、兵庫縣尼ヶ崎矢嶋兼子、佐賀縣小城郡多久村多久まさ子、上州前橋高橋貞義、横濱港太田町梅野たけ子

◎寄書

○幼稚保育の心得(前號の續き)　岡山　秋蝶園主人寄贈

幾兒の泣き叫ぶは強ち自儘と大聲を發して叱るべからず　幾兒の泣き叫ぶは強ち自儘とのみ思ふべからず泣で叶はぬことありて泣くときは大抵自由に泣しむるか他に其の心を慰むる道を求むべし若し大聲に叱れば其性を傷ふこと甚し

化物を以て嚇すべからず　幼兒の泣を止めんが爲め化物が來るとか狂犬が來るとか恐い話を聞かせば遂に臆病者となるべし

妄に食物を與ふべからず　幼兒の泣き或はスネルとき食物を與てスカス可らず身躰の爲め惡しきのみならず物を貰ふの癖を生ずるなり

自愛の心に逆ふ可らず　幼兒が友達や兄弟に物を分たぬとて咎むべからず人間は自己を愛するの心強きものなれば幼兒が他人に物を分たぬは自然の性なり人を憐み惠むの心は七八歳より漸次に出來るものなり

過を改むる習慣を養ふべし　幼兒に少しの過失あるも速かに來りて謝せば必ず免すべし決して理不盡に叱る可らず

幼兒の訴を取り上べからず　幼兒が友達や兄弟に責められて泣訴へ或は怒つて告るとき縱令や理ありとても一々之を取り上べからず然ふざれば何事にても我が氣に入らぬことは目上の人に告げさへすれば良しと心得成長の後執拗たるものか他人に依賴するやうなるものとなるなり

自ら其非を悟しむべし　幼兒が惡しきことを爲したればとて口喧ましく小言といふ可らず幼兒の心落ち着きしとき世間話抔をして之を諷し自ら其非を悟らすやうにすべし(以下次號)

○●○

○自動の進步及び他動の進步

神田學習院前　上林生

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

凡そ何事によらず已が地位を或場所ゟ占めんとそるには自動と他動との二の方法あり自動とは自ら進んでその地位を占めんとすることにして之を積極即ち働らき掛といふ他動とは消極即ち受け身ゟして他の働らきによりて自らその地位を得るをいふなり此方法に於て第一のものは進んで爲そことなれバ或は過ち仕損ずるともあるもろの功を奏すること多く第二の方法は仕損ずるの恐れはなきも他に依頼するを以て其功を奏するはいと覺束なきことゝす

今や我邦女權伸暢の議論喧びそしく此所ゟは女學校を起して女子を教育し彼處には會合を設けて婦人の交際を開く等中々盛なることゝ謂ふべし是れ畢竟時勢の廻り合せとは云ひながらその進歩の途を謂はゝ卽ち他動の進歩なり其証據には今日此女權論と首唱したるものは誰なるや歐米婦女の權力は太だ強大にして寧ろ女尊男卑の弊もや起らんのとの憂ある程なるに我邦は一般の風習として矢張依然たる男尊女卑なれば此弊は宜しく洗除せざるべからずとの感を起して女權説を主張せられたる熱婦勇女も間にはあらんかなれども今日女權論を我日本社會に造り出したるものは婦女子にあらずして則ち男子あり男子がろの己等に不利益なる權力平等の説を唱へて竟に此興論を成したるは蓋し其原因あるには相違なきことなれどもろの穿索は姑く擱き兎に角今日の女權説の興論を喚起したるものは男子にして婦女子が漸く教育に注意し交際社會に顔出しせらるゝ迄の進歩は則ち他動の進歩たること毫も疑ひなき事なり

他動卽ち受身の進歩にして斯くの如く速かなりしは誠に奇異の感を起さしむる程の成果にして我輩は婦女子の爲めに大に慶賀する所なれども我輩は婦女子が他動の成果の餘り好き過るに馴れて自動の勇氣を減殺せんことを恐るゝなり今日までの進歩は他動に成りしの今後の進歩は自動によるへきは將た依然他動に任ずべきかは婦女子の將來に履むべき尋路の一問題にして充分注意を要すへき所なれども教育なき下等婦人は固より言ふに足らず此等の婦人は他動によりても進歩は圖り難き者なれは自動の進歩杯は夢にだも想ふべのふず唯り身に相當の教育を受け交際社會に伍せんとせらるゝ婦女達は充分自動の勇氣を養はるゝ筈なれば我輩は此等の婦女達ゟ向つては奮つて自動の進歩を計られんことを望む尤も婦女達には定めし我輩の言を待たず已に其計畫あらんとは存ずれ共遺憾にも我輩は今日尚は其形迹の甚だ乏しきを覺ゆる也(以下次號)

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

遞信省認可

廣告

教育書專賣所廣告

○理科仙鄉　バツクレー氏原著　山縣悌三郎譯補　全十冊　自第一第六既刻出版　定價金二十五錢宛

○教育全史　ペインター氏原著　杉浦重剛譯　全五冊　卷ノ一卷ノ二出版　定價金廿五錢宛

○進化要論　獨逸國碩儒ヘッケル氏著　日本山縣悌三郎譯修　全十五冊　卷ノ一出版　定價金四十錢宛

○理科通志　バツクレー原著　山縣悌三郎譯補　全十冊　卷ノ一出版　定價金二十錢宛

○倫理通論　文學士井上圓了著　全二冊出版　定價金七十錢宛

○心理全書　英國アレキサンドルベイン氏原著　日本松嶋剛　田中登作　佐藤亀世　橋本武合譯　全四冊　定價金七十五錢宛

○哲學一斑　大學敎授寺尾壽序　音樂取調掛助敎鳥居忱譯　全三冊　定價三十五錢宛

○音樂之枝折　大村芳樹編　全二冊　定價金二十五錢宛

教育書發兌所　東京下谷區練塀町十四番地　普及舍

●速記叢書　講談演說集第六冊　八月一日出版

●每冊定價郵稅共特別割引十四錢（郵劵代用隨意）

●但第三冊ニ限リ定價郵稅共七錢

●彗星の話　理科大學敎授寺尾壽君

●小說と演劇との關係　文科大學敎授小中村淸矩君

●行政法大意第三回　內務省參事官宇川盛三郎君

●專修學校生徒卒業式祝辭　元老院議官加藤弘之君

◎雜記●本年九月倫敦ニ開カルヘキ萬國速記法大會議ノ議題要目●全國の速記者に望む●筆記の校正方●

發賣書肆
東京日本橋區通三丁目　丸善商社書店
同　本町三丁目　端德屋卯三郎
同　馬喰町二丁目　石川敎育書房
同神田區淡路町一丁目　巖巖堂

教育雜誌

七月五日〔第三十九號〕より大改良一部御入用の向は郵劵四錢御送付あれは五千部限差出すべし詳細は本誌を見て知り給へ

發行所　東京北豐嶋郡金杉村二百六十三番地　贊育社

舍告

本誌代價前金相切れ候ときは帶封を朱書に致して御送附申上候に付其節は早速御送金被下度候也

績文舍會計掛啓白

本誌代價表	正價	此郵稅
壹冊	金四錢	壹錢
拾冊	同金三拾八錢	同拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同四拾錢

但シ東京十五區內郵稅不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間は雜誌配達不仕事に相定候に付御注文の節は必す代價郵稅共郵便爲替又は通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵劵代用は壹錢切手にて一割增し●郵便爲替は芝區芝口郵便局へ御振込み其爲替劵と本舍へ御送附可被下候　但し東京十五區內は御斷り無之間は引續き配達仕候

發行所　東京々橋區南鍋町貳丁目拾壹番地　績文舍

持主　松本義弘
編輯人　原口令成
印刷人　初鹿野銻五郎

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY